

21世紀における腎移植の発展と他業種間の連携

腎臓移植外科

原田 浩

日本における腎移植の歴史は、1954年の米国 Boston の Peter Bent Brigham 病院での双胎間の移植の長期生着例に続くこと 2 年後の 1956 年に、新潟大学にて急性腎不全患者にわが国初の腎移植が行われている。しかし、慢性腎不全の腎代替療法としての腎移植は 1964 年の東京大学の症例が最初である¹⁾。その後、各施設で腎移植が行われる様になり、徐々に普及してきた。現在、わが国の腎移植数はここ数年約 1,600 件である²⁾。腎移植の普及の背景として、特殊な施設でなくとも移植が広く行われるようになってきたことであるが、その理由として、免疫抑制薬の発達³⁾、その薬剤濃度測定を含めた管理方法の発達⁴⁾、組織適合性検査の発達^{5, 6)}、拒絶反応の理解およびその診断基準の確立が上がる⁷⁾。それは、腎移植を普遍的なものにしたのみならず、成績も向上させ、ここ 10 年の生体腎移植の生着率は実に 90% 近くに達する²⁾。近年では、血液透析を経ない先行的腎移植が増加し、特にわが施設では半数を超えている。さらに、夫婦間移植への適応の拡大は、ドナー候補者の枠を広げ、これまで肉親間のドナーがないために腎移植を諦めていた方への福音となっている^{8, 9)}。腎移植の成績の向上の背景には拒絶反応の減少があり、結果として、かつて移植後月単位の必要とされていた入院期間も短縮化し、最近では移植後 10~14 日での退院が当院の基本となっている¹⁰⁾。

このように、特に今世紀に入ってからの腎移植の成績の向上は目覚ましく、それを支えているのは医師のみならず、移植チームを構成する外来コーディネーター、看護師¹¹⁾、薬剤師、検査技師、紹介元の腎臓内科医、栄養士、リハビリテーション技師の協力の賜である。

この度、市立札幌病院医誌において「チームで

行う腎移植」という企画担当の機会をいただいた。7人の各エキスパートに、原稿をお願いした。島本真実子副医長には CKD 保存期の管理および腎代替療法の 1 つとしての腎移植の至適なオプション提示について、また当科和田吉生医師には腎移植希望者の外来対応から腎移植までに行うことについて述べていただいた。また、入院中のドナーおよびレシピエントの対応を手術および病棟での管理につき、当科福澤医長から、さらに佐藤真澄腎移植コーディネーターからは外来および病棟での外来スタッフの役割につき解説いただいた。薬剤部辻本高志薬剤師には、当院として力を入れている免疫抑制薬の血中濃度測定およびその管理につき、また検査部高橋祐司技師には腎移植に関わる組織適合性の最近の動向につき詳細に論じていただいた。最後に全国でも有数の腎病理診断件数を誇る当院病理診断科辻隆裕副医長から腎移植における病理診断の重要性につき触れていただいた。

以上、本特集記事をご一読いただければ腎移植における最新の流れが把握できると思われ、より多くの方にお読みいただくなことを希望する。

参考文献

- 1) 高橋 公太：腎移植の歴史。「腎と透析」編集委員会編、腎と透析 2014 Vol 76 増刊号。東京。2014. 19-24.
- 2) 2014 腸器移植ファクトブック。
www.asas.or.jp/jst/pdf/factbook/factbook_2014.pdf
- 3) Zand MS. Immunosuppression and immune monitoring after renal transplantation. Semin Dial. 2005; 18(6) : 511-9.
- 4) 辻本 高志：腎臓移植における薬剤師の関わり。市立札幌病院医誌 2016; 2 : 35-40.

- 5) 原田 浩：既存ドナー特異的抗HLA抗体陽性症例への腎移植の実際－当院でのケースを中心にして。日本臨床腎移植学会雑誌 2016；4：92-98. 2016.
- 6) 高橋 祐司：腎移植における組織適合性検査の発展と今後の展望。市立札幌病院医誌 2016；2：23-27.
- 7) 辻 隆裕：移植腎病理診断の実際。市立札幌病院医誌 2016；2：41-46.
- 8) 島本 真実子：腎代替療法の一つとしての腎移植の提案。市立札幌病院医誌 2016；2：5-
- 10.
- 9) 和田 吉生：「生体腎移植」が成就するまで～初診から移植手術までの流れ～ 市立札幌病院医誌 2016；2：11-16.
- 10) 福澤 信之：ドナーおよびレシピエントの手術～入院から退院まで～。市立札幌病院医誌 2016；2：29-33.
- 11) 佐藤 真澄：腎移植外来および病棟での腎臓移植外来スタッフの役割。市立札幌病院医誌 2016；2：17-21.